



	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
7月	796	607	771	11	1	2,186	508	64	139	133	83	599	3,712
累計	3,233	2,054	2,449	147	14	7,897	2,162	193	654	515	217	2,146	13,784

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

🔍 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

I/C8 戦後国府台に母子ホームを開設したエーネ・パウラスについて掲載されている本を探している。

『市川ひと事典』(第2版 エピック 1993) p.111-112、『市川市史 歴史編 4』(市川市 2020) p.202-203、年表 p.431、『人物でつづる千葉県社会福祉事業のあゆみ』(崙書房 1985) p.214-222、『日本女性人名辞典』(日本図書センター 1993) p.815、『婦人年鑑 6 昭和 15 年版』(日本図書センター 1988) p.386 等に記載あり。また、『社会事業に生きた女性たち 続』(五味百合子/編著 ドメス出版 1980・千葉県立西部図書館所蔵) p.73-85 と略年表に記載があるのを確認。

215.4 幕末に静岡県に移住し、茶畑を開いた旗本・御家人の状況が分かる資料がないか。

『静岡県の百年』(原口清/[ほか]著 山川出版社 1982) p.23-34「旧幕臣のゆくえ」には、旧幕臣の駿河府中藩(のちの静岡藩)への無禄移住から茶園の開拓について記載がある。『見る読む静岡藩ヒストリー』(樋口雄彦/著 静岡新聞社 2017) p.74-85 には「牧之原開拓関係図」や写真等の図版も掲載されている。『海を越えたジャパン・ティー』(ロバート・ヘリヤー/著 村山美雪/訳 原書房 2022) p.101-106「日本の内戦後の茶と新たな暮らし」にも静岡の開拓の記述がある。また、『海舟座談』(巖本善治/編 岩波書店 1995)に「金谷開墾のいきさつ」があり、静岡・金谷の開墾について勝海舟が語っている。(p.127)

ほかに、『幕末旗本土族と土』(平井行男/著 歴史文庫刊行会 1993 千葉県立東部図書館所蔵)、『侍たちの茶摘み唄』(江崎惇/著 鷹書房弓プレス 1992 千葉県立西部図書館所蔵)、『静岡市史 編纂資料 第6巻』(静岡市 1929 国立国会図書館デジタルコレクション・インターネット公開)。

779.1 ろうそくが消えると命が消えるという落語について、子ども向けと大人向けの両方の資料を紹介してほしい。

「死神」として『古典落語大系 第2巻』(江國滋/[ほか]編 三一書房 1969) p.152-163 に掲載。解説もあり。『円朝全集 別巻 1』(岩波書店 2015) p.223-233 には「名づけ親(死神)」という題で収録。解説 p.490-494。『三遊亭円朝全集 7』(角川書店 1975) p.395-403、解説 p.725 など。子ども向けには『林家木久蔵の子ども落語 その2』(林家木久蔵/編 フレーベル館 1998)「死神」(p.118-139)、絵本に『しにがみさん』(野村たかあき/作・絵 教育画劇 2004)。研究本として『落語『死神』の世界』(西本晃二/著 青蛙房 2002)がある。

910.26 西條奈加の作品ではなく、著者についてわかる資料はないか。

『オール讀物 2021 年 3・4 月号』(文藝春秋)は、第 164 回直木賞 西條奈加『心淋し川』発表号のため、p.23「受賞のことば」、p.92-97 自伝エッセイ「楽観と現実の果て」、p.98-105 宮部みゆきとの受賞記念対談の掲載がある。『波 2009-5 月号』p.14-15 には、著者インタビュー西條奈加『恋細工』『職人ものは難しい、でもそれ以上に…』、『本の旅人 2015-10 月号』p.5-11 に『秋葉原先留交番 ゆうれい付き』刊行記念対談「西條奈加×恩田陸」がある。

911.13 高野切第三種にある「身は捨てつ 心をだにも はふらさじ つひにはいかが なる」と知るべく」の意味や解釈を知りたい。

『新編国歌大観 第1巻 勅撰集編 索引』(角川書店 1983)より、古今和歌集 1064 番(藤原)興風の作とわかる。『和歌文学大系 5』(明治書院 2021) p.309 に通釈、語釈・解説、『日本古典文学全集 7』(小学館 1989) p.395 に注釈、口語訳、鑑賞批評あり。『古今和歌集全評釈 下』(片桐洋一／著 講談社 1998) p.594-596 には、通釈、語釈のほか鑑賞と評論が記載されている。

913.6 井上ひさしの『モッキンポット師の後始末』のあとがきで「モッキンポット」の意味が「間抜けなお人よし」とあるが、そのような単語はあるのか。

『小説をめぐって』(井上ひさし／著 岩波書店 2020)「作者のことば」p.159 によると、ドイツの劇作家ペーター・ヴェイスに「モッキンポット氏の災難退治」という喜劇があるが、関係はないとのこと。小説のモデルとなった神父の口癖の間投句で、井上氏が神父にその意味を問うと「人の真似をして嬉しがっている人物のことで、つまり俗物のことですね」と答えたとある。スペルなどの記載はない。読売新聞データベース「ヨミダス」2023 年 9 月 22 日朝刊の記事で石沢良昭氏が上智大時代の恩師フランス人神父ポール・リーチ教授がモッキンポット師のモデルであると語っている。フランス語辞典では単語等の特定には至らなかった。

919.3 菅原文時の「村上仁寿殿詩序」、「梁元の昔の遊び 春王の～」を解説した本はないか。

『新編日本古典文学全集 19 和漢朗詠集』(小学館 1999) p.344 に注解、口語訳、評釈がある。付録の「漢詩文全文一覧」p.441 に「本朝文粹 卷十一」の該当部分の全文記載がある。「作者略伝」p.487 によれば菅原文時の詩文は『本朝文粹』『扶桑集』等に収められているとのこと。

『日本古典文学大系 73 和漢朗詠集 梁塵秘抄』(岩波書店 1965) p.219 には、注釈、訓み下し文、漢詩文掲載。出典一覧 p.288。

919.6 詩吟の「真蹤寂寞 杳として尋ね難く～」ではじまる夏目漱石の「無題」という漢文の解説が見たい。

『定本漱石全集 第18巻』(岩波書店 2018)に詩句索引あり(画数検索)。漢詩 p.66-67、訳注 p.483-485。漢詩としては絶筆となる作品とのこと。『漱石の漢詩を読む』(古井由吉／著 岩波書店 2008) p.147-157、『夏目漱石名詩百選』(小村定吉／著 古川書房 1989) p.178-181、『講座 夏目漱石 第2巻』(三好行雄／[ほか] 編 有斐閣 1981) p.322-323 にもある。

他にもこんな質問ありました (クイック・レファレンスから)

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など
I/C4	昔市川駅近くにあった市川競馬場の地図。以前に観光案内的なものを見たことがある	⇒『市川市全地図』(市川市地歴研究調査会 1937)、『市川市全図』(立正堂書店[発売] 裏面：市川市商工庶家案内の情報より 1931~1936 の間に発行)、『京成電車沿線案内』([京成電鉄] [1935 年頃])
288.2	佐々木家(定綱)の系図を探している	⇒『系図纂要 第8冊下 宇多源氏』(新版 名著出版 1995)のほか、『続群書類従 第5輯下 系図部』(訂正3版 続群書類従完成会 1982)には、巻第百三十二 p.280、巻第百三十三 p.330、巻第百三十四 p.359 に「佐々木系図」あり。
686.2	昭和 38 年の国鉄の多重衝突事故「鶴見事故」直後の新聞記事が見たい	⇒ 朝日新聞クロスサーチで、1963 年(昭和 38 年)11 月 10 日朝刊紙面を確認できる。『横須賀線 70 系時代 下』(佐藤良介／著 ネコ・パブリッシング 2021) p.40-41 にも「Column 鶴見事故」として記載があり、事故を報じた朝日新聞朝刊紙面や翌日の写真が掲載されている。
760.3	刺繍音とは何か	⇒『実用音楽用語事典』(岩田晏実／[ほか] 著 ドレミ楽譜出版社 2011) p.118 「刺繍音」の項あり。p.240 「非和声音」の項にも記載がある。『新編音楽中辞典』(音楽之友社 2002) p.280 にも「刺繍音」の項があり、「非和声音(転移音)の一種」「補助音」とある。
E	モンゴルルーツの 2 歳と 4 歳の子ども向けお話を紹介してほしい。	⇒ モンゴル出身のイチンノロブ・ガンバートル文、バーサンスレン・ボロルマー絵の作品を紹介。訳はいずれも津田紀子。4 歳向け絵本として『トヤのひっこし』(福音館書店 2015)、2 歳の子には絵本『まねっこビュンビュン』(福音館書店 2016)。ほかに紙芝居『おかあさんといっしょにこ』(童心社 2015) など。